



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社  
コード番号 9873 URL <https://japan.kfc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 判治 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 蜂谷 由文

TEL 045-307-0700

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	75,650	1.3	3,023	48.1	3,612	43.4	2,068	45.0
2022年3月期第3四半期	74,709	9.1	5,826	1.4	6,377	36.0	3,760	53.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,027百万円 (45.7%) 2022年3月期第3四半期 3,733百万円 (46.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	92.58	
2022年3月期第3四半期	168.29	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	53,714	27,454	51.1	1,228.62
2022年3月期	47,761	26,750	56.0	1,197.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 27,454百万円 2022年3月期 26,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		35.00	60.00
2023年3月期		25.00			
2023年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	0.5	2,200	64.0	2,600	62.5	1,600	64.9	71.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	22,423,761 株	2022年3月期	22,423,761 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	78,318 株	2022年3月期	87,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	22,342,059 株	2022年3月期3Q	22,348,667 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する経済社会活動制限の緩和が進み、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、世界的なインフレの加速、ウクライナ情勢の長期化などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、行動規制の緩和により消費活動の回復が見られるものの、原材料価格、資源価格及び物流費等の高騰による物価上昇の不安定要因から、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、中期経営計画の2年目にあたり、引き続き積極的な新規出店、ブランド力の維持・向上を目的とした既存店舗の改装促進、お客さまの利便性向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を重要施策と位置付けております。

当第3四半期連結累計期間においては、主力のケンタッキーフライドチキン（以下、「KFC」）では、日常利用や秋冬のグループ需要に合わせたお得なメニューを展開するとともに、サンドの名称をバーガーに変更し、新たに“辛口、チーズ、ダブル”3種類をラインアップに加え、定番バーガー5種類へバリエーションを拡大いたしました。新商品ではオマール海老の旨味を閉じ込めた濃厚な「ビスククリーミーコロッケ」と骨なしケンタッキーフライドチキンと一緒に挟んだ「オマール海老の旨味ひろがるフィレバーガー」や、レッドホットチキンの刺激的な辛みと骨付き手羽元の旨味がマッチした「レッドホットスティック」を期間限定で販売いたしました。ファミリーやグループの集まりにはボリューム感のあるおトクな「ウインターパック」をご提供し、冬のギャザリング需要を支えました。

また、12月23日から12月25日までの3日間は、2022年「ケンタッキークリスマスキャンペーン」を実施いたしました。定番のパーティバーレルを中心に、五穀味鶏を使用したプレミアムシリーズなど、KFCこだわりのクリスマスメニューをご提供し大変ご好評をいただきました。その結果、期間中のチェーン売上高は64億円となりました。

店舗数につきましては、当第3四半期連結累計期間において41店舗（直営6店舗・フランチャイズ35店舗）を出店し、1,192店舗となりました。改装につきましては、112店舗（直営26店舗・フランチャイズ86店舗）実施いたしました。また、配達代行を含むデリバリーサービスの実施店舗は、708店舗となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は756億5千万円（対前年同四半期1.3%増）、営業利益は30億2千3百万円（同48.1%減）、経常利益は36億1千2百万円（同43.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億6千8百万円（同45.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は59億5千3百万円増加し、537億1千4百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加13億9千万円及び売掛金の増加42億3千1百万円等によるものであります。

負債は52億4千9百万円増加し、262億6千万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加48億5千9百万円、未払金の増加17億4百万円及び未払法人税等の減少17億1千3百万円等によるものであります。

純資産は274億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億3百万円増加し、自己資本比率は51.1%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上20億6千8百万円及び剰余金の配当による減少13億4千5百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年11月9日に公表しました「2023年3月期 第2四半期決算短信」に記載の2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,411	21,801
売掛金	5,636	9,867
有価証券	2,000	2,000
商品	442	571
原材料及び貯蔵品	71	77
前払費用	455	483
その他	943	1,957
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,961	36,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,316	3,247
土地	1,723	966
その他（純額）	1,002	1,477
有形固定資産合計	6,042	5,691
無形固定資産		
のれん	6	0
ソフトウェア	917	2,167
ソフトウェア仮勘定	1,286	10
その他	0	0
無形固定資産合計	2,211	2,178
投資その他の資産		
投資有価証券	2,800	3,143
差入保証金	4,066	3,965
繰延税金資産	2,367	1,560
その他	360	460
貸倒引当金	△48	△44
投資その他の資産合計	9,546	9,085
固定資産合計	17,799	16,955
資産合計	47,761	53,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,970	11,830
未払金	5,605	7,310
リース債務	61	178
未払法人税等	1,738	24
未払費用	548	536
賞与引当金	873	447
役員賞与引当金	91	-
資産除去債務	2	102
契約負債	18	82
その他	782	1,167
流動負債合計	16,693	21,679
固定負債		
リース債務	210	653
退職給付に係る負債	2,190	2,175
株式給付引当金	75	54
資産除去債務	1,164	1,141
その他	676	556
固定負債合計	4,317	4,581
負債合計	21,011	26,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	9,689	9,689
利益剰余金	9,782	10,505
自己株式	△209	△187
株主資本合計	26,559	27,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	147
為替換算調整勘定	△4	△3
退職給付に係る調整累計額	19	4
その他の包括利益累計額合計	190	149
純資産合計	26,750	27,454
負債純資産合計	47,761	53,714

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	74,709	75,650
売上原価	43,142	45,088
売上総利益	31,567	30,561
販売費及び一般管理費	25,740	27,538
営業利益	5,826	3,023
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	10
受取賃貸料	191	168
受取協力金	1,364	161
持分法による投資利益	-	382
その他	49	51
営業外収益合計	1,615	774
営業外費用		
支払利息	4	7
店舗改装等固定資産除却損	14	7
賃貸費用	136	155
持分法による投資損失	278	-
環境対策費	611	-
その他	19	15
営業外費用合計	1,065	185
経常利益	6,377	3,612
特別利益		
受取補償金	2	8
その他	-	0
特別利益合計	2	8
特別損失		
固定資産除却損	60	2
減損損失	161	91
ゴルフ会員権売却損	-	1
ゴルフ会員権評価損	-	3
その他	-	1
特別損失合計	221	99
税金等調整前四半期純利益	6,158	3,521
法人税、住民税及び事業税	2,418	626
法人税等調整額	△20	826
法人税等合計	2,397	1,453
四半期純利益	3,760	2,068
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,760	2,068

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,760	2,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△27
為替換算調整勘定	0	1
退職給付に係る調整額	△5	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△27	△41
四半期包括利益	3,733	2,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,733	2,027
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社の一部の関係会社においては、緩やかながらも業績回復の兆候が見え始めているものの、全国的な新型コロナウイルス感染者数の再拡大、消費マインドの低下に伴う外食機会の減少等の影響が生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な仮定の変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。